

ACANTHUS NEWS



「アカンサス」(和名「ハアザミ」)は、南ヨーロッパ原産で葉を様式化した文様はギリシャ建築などで有名。金沢大学の校章も、このアカンサスの葉を図案化したもの。

平成14年 **2002.9**

月刊アカンサスニュース
金沢大学広報紙 第71号

“旧制四高の伝統を生かせ” — 第5回運営諮問会議ひらく —

TOP NEWS

8月1日、角間キャンパスを会場に「金沢大学の教育改革」をテーマとして、「第5回運営諮問会議」及び「平成14年度第1回金沢大学フォーラム—教育改革をめぐる—」が開催された。



運営諮問会議であいさつする林勇二郎学長
=事務局大会議室

事務局で開催された運営諮問会議では、会長に石原多賀子氏を再選した後、大学側から入口(入試)及び出口(就職)の整備、教員養成の課題と取組み等について説明があり、委員から、旧制四高の伝統を受け継ぐ金沢大学に、教員養成担当大学やロースクール設置大学への期待が寄せられた。【3頁に関連記事】



運営諮問会議での審議風景
=事務局大会議室

「地域貢献特別支援事業」採択される！ — 本学を含め5大学に —

地域貢献推進室が石川県及び金沢市と連携して、地域が抱えるニーズを取り入れた事業計画を作成し要求していた「地域貢献特別支援事業」が、8月末、文部科学省から事業採択の内示があった。事業費総額は7,420万円で、申請した20大学のうち本学のほか岩手大、群馬大、鳥取大及び広島大の計5大学の事業が採択された。

採択の背景には、金沢大学サテライト・プラザや角間の里山自然学校など、大学評価・学位授与機構の大学評価でも特色ある活動として高い評価を受け、県・市との連携で実績をあげている事業の存在があったものと思われる。

【事業の詳細は10月号で紹介の予定】

巻頭言

素材と作品



副学長
金子 劭 榮
(教育学部教授)

内閣府「国民生活に関する世論調査」(2002年6月実施)によれば、「物の豊かさ」よりも「心の豊かさ」を重視する人が60.7%で過去最高、他方、日ごろの生活に「充実感を感じている」人が多く(67.0%)、将来に備える「アリ派」が減り、毎日の生活を充実させて楽しむ「キリギリス派」が多いという(過去最高、56.4%)。満たされないものを感じながら、満足感を得ようとしている姿が見え、将来を展望するゆとりが感じられない。

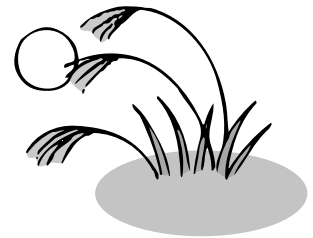
いつの時代でも、ゆとりはさまざまな意味でプラスに作用し、人間が生きる上で必要不可欠なものである。無駄のない効率的運用は、文字通り効率を上げるが、それで満足や充実感がもたらされるものでは必ずしもない。今、さまざまな場面で効率が求められている。有り余る豊かさの中では「無駄」も許されたが、今は許されない。

トータルとしての、人間個人の成長のため、システムの維

持・発展のためには、異種なるものとの接触、競争、葛藤が必要である。同種のもののみからでは発展はない。これは難題ではある。しかし、これを越えたとき、異種のものがバランスよく混ざり合い、さらには、(加算的ではなく)乗算的な相互作用のもと、新しい調和(ハーモニー)が生みだされる。

良い素材が良い味を、優れたスタッフが、立派な企画を造り出す。しかし、単に良い素材があれば必ず素晴らしい料理が出来上がるわけではない。よい素材であるほどその味を生かすことは難しいのかも知れない。ひとつひとつの素材の良さを基礎としながらも、個々の素材が良くなるだけでは、良い味は出ない。これまでの調理法にこだわらない斬新な発想によって、素材ひとつひとつからは想像もできない素晴らしい味、新しい料理が完成する。

人間のさまざまな知的能力・財産も、その活用の仕方によってどうにでもなる。素材を調和的に生かした、人間にふさわしい知恵を大切にしたい。



目次

“旧制四高の伝統を生かせ”-第5回運営諮問会議ひらく-	1	「杖道」を体験-JAPAN TENTで全国の留学生と交流-	8
「地域貢献特別支援事業費」採択される!		第12回石川地域留学生交流推進会議開く	8
-本学を含め5大学に-	1	ボランティア	8
巻頭言 素材と作品 副学長 金子 劭 榮	2	留学生茶道体験コースでお茶会	8
放射線過線量照射等の医療事故が発生	3	留学生書道展	8
教育改革めぐり熱い議論		「小・中学生のためのものづくり教室」	
「平成14年度第1回金沢大学フォーラム		-「ものづくり」の楽しさを体験しよう!-	9
-教育改革をめぐる-」を開催	3	インターンシップを実施	9
AO入試について意見交換	4	わく・ワーク職場体験	9
平成14年度金沢大学見学会(オープンキャンパス)	4	日本学術振興会事業説明会-国際交流事業の支援、推進-	9
わくわく進学相談	4	本学へのお客さま	10
標本セミナー	4	教育学部附属養護学校マレーシアからの研修員受入れ	10
共同研究センター協会総会	4	薬学部と大連軽工業学院(中国)が協定	10
石川県公共図書館協議会と相互協力協定を締結	5	学生に対し学長研究奨励費を交付	10
平成13年度 特別プロジェクト報告会	5	まちなか(街中)でセミナー	10
日本学術会議第7部会夏季公開セミナー	5	ミニ講演会	11
医学部附属病院でサマーコンサート	5	7月~8月開始の公開講座	11
石川の女性問題に取り組んで	6	社会教育主事講習	11
教養教育改革ワークショップ	6	学校図書館司書教諭講習	11
大学改革推進室特別講演会	6	角間の里山自然学校から	12
国際会議「日韓コンピュータグラフィックス会議2002年」を開催	7	おめでとうございます	12
いしかわ環境フェア2002	7	キス釣り大会	12
「人事交流者との懇談会」を開催	7	高安右人の胸像を再建	12
工学部第2回新任教官初任者研修会	7	編集後記	12

ビッグニュース

放射線過線量照射等の医療事故が発生

このたび、本学医学部附属病院において、「放射線過線量照射」及び「ガーゼ遺残」の医療事故があったことが判明し、7月11日、病院長をはじめ関係者が記者会見を開いて陳謝した。会見を前に緊急に招集された臨時部局長会議・臨時評議会で、林学長は、本学の信用回復のため全教職員に危機管理の徹底を指示した。

なお、医学部附属病院の「医療事故調査委員会」は8月28日、「放射線治療における過線量照射事故調査報告報告書」と「放射線治療（ライナック）事故防止マニュアル」をまとめ、会見で公表した。

（学長・病院長連名の謝罪文「国民の皆様へ」及び「医療事故の概要」については、本学のホームページ（<http://www.kanazawa-u.ac.jp/j/>）に掲載している。）



記者会見する病院関係者
=7月11日、医学部附属病院臨床講義室

教育改革めぐり熱い議論

「平成14年度第1回金沢大学フォーラム—教育改革をめぐる—」を開催

8月1日、運営諮問会議での議論を深めるために開催されたフォーラムには、運営諮問会議委員を含めて160名を超える教職員・市民が会場となった総合教育棟の講義室に参集し、4名の教官によるFD活動、厳格な成績評価、学生中心の大学



活発な質疑応答が行われた全体討議の様子
=総合教育棟A1講義室



質問に答える青野透法学部教授
=総合教育棟A1講義室

づくりなどに関する報告をもとに、本学における教育改革の課題と取組みの方向等について、熱心に討議された。

オープンキャンパス等

AO入試について意見交換

7月25日、文学部・法学部・経済学部棟で北陸三県高等学校長との入試懇談会が開催され、77高等学校から105名の高等学校長及び進路指導担当教諭が出席した。



あいさつする畑副学長

懇談会風景
=文・法・経済学部棟A102講義室

平成14年度金沢大学見学会 (オープンキャンパス)

8月7日、各学部を会場に大学見学会が開催された。天候にも恵まれ、昨年の約1.2倍強となる2,417名の高校生や保護者が参加した。



薬学部の沿革を説明する
辻彰薬学部長
=薬学講堂



模擬授業(文学部)
=文・法・経済学部棟A201講義室



模擬授業(法学部)
=文・法・経済学部棟A102講義室

わくわく進学相談

7月6日、民間団体が主催した「わくわく進学相談」に、約3,000名の高校生、進路指導教諭等が参加した。



進学相談等に応じる本学入試課員
=石川県産業展示館4号館



「工学部では何を学ぶのか」と題して模擬授業する西川清工学部教授
=石川県産業展示館4号館

標本セミナー



化石について説明する神谷隆宏自然科学研究科助教授
=理学部講義室

8月22日、理学部地球学科等の主催で標本セミナーがひらかれ、「鉱物のせいしつ(かたさやおもさ)をしらべそのひみつをさぐろう!」や「化石のレプリカ(複製)をつくってみよう!」の呼びかけに応じて、小中学生の20名が参加し、鉱物や化石についての実習が行われた。

トピックス

共同研究センター協力会総会

7月22日、金沢市内のホテルで、共同研究センター協力会設立後初めての総会が開催され、平成13年度事業報告及び収支決算報告、平成14年度事業計画案及び収支予算案、顧問・参与・産学コーディネーターの委嘱について承認された。

あいさつする渋谷弘利会長
＝金沢市内のホテル



石川県公共図書館協議会と相互協力協定を締結

附属図書館は、7月16日、石川県公共図書館協議会との相互協力協定を締結した。今回の締結により、金沢大学附属図書館と、県公共図書館協議会46加盟館との間で、相互協力が可能となった。



調印後に懇談する関係者
＝附属図書館長室

平成13年度特別プロジェクト報告会

7月20日、21日の両日、医学部記念館で財務委員会主催の報告会「平成13年度特別研究プロジェクトーいま、金沢大学では、どんなプロジェクト研究が行われているか？ おこたえします!」が開催され、200名をこえる学内教職員と市民が参加した。



「萌芽的研究IIについて」の発表
＝7月20日、医学部記念館

日本学術会議第7部会
夏季公開セミナー

7月23日、医学部記念館において、日本学術会議第7部会（医学、歯学、薬学）夏季公開セミナー「わが国における医学と医療の将来」が開催された。



講演する馬淵宏医学系研究科長
(当時)

医学部附属病院でサマーコンサート

8月13日、新病棟において、入院中の子どもたちや患者さんのために地元コーラス「金沢コーラスさざなみ」の協力により「サマーコンサートin2002」が開かれ、約100名が参加した。



和田啓子氏の指揮で「夏の思い出」を合唱するコーラスの皆さん
＝医学部附属病院西病棟1階合同カンファレンスルーム

講演会

教養教育機構 講演会ひろく

石川の女性問題に取り組んで



講演する梶井幸代氏
=総合教育棟D4講義室

学生に幅広い教養を身につけてもらうことを目的に、7月5日、教養教育機構の主催で、北陸婦人問題研究所長梶井幸代氏を招き「石川の女性問題に取り組んで」と題する講演会が開催され、学生・教職員、学外者約40名が出席した。

教養教育改革ワークショップ



「名古屋大学の教養教育カリキュラムの改革」について報告する山田弘明氏
=総合教育棟会議室

7月26日、教養教育機構研究調査部が主催して名古屋大学高等教育研究センター長山田弘明氏を招いて教養教育改革ワークショップが開催され、教職員約30名が出席した。

大学改革推進室特別講演会

8月8日、「大学と知的財産」と題する特別講演会が開催され、50名を超える教職員が独立行政法人産業技術総合研究所知的財産部長の講演に耳を傾けた。

また、8月23日には、早稲田大学と中央大学から講師を招き「私立大学の組織と運営に学ぶ金沢大学の改革」をテーマに特別講演会がひらかれ、出席した100名を超える教職員が大学改革及び大学経営と事務職員の役割等を中心に、率直な意見交換を行った。



講演終了後、学長等と意見交換する羽鳥賢一知的財産部長(右から4人目)
=8月8日、事務局特別会議室



早稲田大学 井原 徹氏



中央大学 横田利久氏



熱心にメモをとる教職員
=8月23日、事務局大会議室

ニュースの杜

国際会議「日韓コンピュータグラフィックス会議2002年」を開催

8月22日～24日、理学部は、協定校の韓国国立釜慶大学校自然科学大学と共催で国際会議「日韓コンピュータグラフィックス会議2002年」を開催し、約100名が出席した。



＝8月23日，金沢市内のホテル

いしかわ環境フェア2002

8月24日、25日の2日間、石川県産業展示館3号館で(社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催の「いしかわ環境フェア2002」が開催され、本学からは、自然計測応用研究センターが出展した。



自然計測応用研究センターのブース
＝8月24日，石川県産業展示館3号館

「人事交流者との懇談会」を開催

8月30日、事務局大会議室で、本学から他の国立学校等に出向している職員76名のうち26名の出席を得て、「人事交流者との懇談会」を開催した。

総合移転事業や法人化に向けた取組みについて説明する大島事務局長



工学部第2回新任教官初任者研修会

8月30日、工学部教育方法改善委員会主催による第2回新任教官初任者研修会が開催され、12名が出席した。



「魅力的な授業」について説明する畑朋延工学部長
＝工学部第一会議室

留学生の動き

「杖道」を体験 —JAPAN TENTで全国の留学生と交流—



初めて杖道に真剣に取り組むJAPAN TENT参加留学生と指導する本学留学生
=7月31日, 金沢大学体育館

7月26日から8月6日まで開催された「第15回 JAPAN TENT—世界留学生交流・いしかわ2002—」の中で、日本古来の武道「杖道（じょうどう）」体験のプログラ

ムを実施し、全国から留学生20名が参加した。



本学学生との交流を楽しむJAPAN TENT参加留学生
=7月31日, 国際交流会館コモンルーム

第12回石川地域留学生 交流推進会議開く

第12回石川地域留学生交流推進会議が7月15日、金沢市内のホテルで開催され、本学、北陸先端科学技術大学院大学等の18機関の委員が出席した。



会議終了後の懇談会で太鼓演奏する留学生
=金沢市内のホテル



会議風景
=金沢市内のホテル

ボランティア

米国タフツ大学から留学生センターに1年間短期留学プログラム生として留学したトニー・キムさんは、今年1月から7月まで、津幡町の町立図書館でボランティアとして活躍した。

毎週土曜日、雨の日も風の日も、角間キャンパスの国際交流会館からバスと電車を乗り継いで図書館に通い、エプロン姿でカウンター業務をこなしながら、町民と交流した。



津幡町の町立図書館でボランティア活動するトニー・キムさん

留学生茶道体験コースでお茶会



7月12日、留学生センターの課外活動「外国人留学生茶道体験コース」(指導: 村田泰恵理学部助手)で、お茶会が催された。

茶道体験で思い出づくり
=角間ゲストハウス

留学生書道展

留学生による書道展が、8月1, 2, 5日の3日間、角間ゲストハウスにて行われた。

作品の展示も終わって、準備完了!
=7月31日, 角間ゲストハウス



大学開放等

「小・中学生のためのものづくり教室」 －「ものづくり」の楽しさを体験しよう！－

8月23日、工学部は昨年度に続き金沢子ども科学財団とも連携、協力しながら「小・中学生のためのものづくり教室」を開催し、市内の小中学生114名が参加した。



泥団子を作る子どもたち



ソーラーカー
作りに励む子
どもたち



エアーカーの説明を聞く子どもたち

インターンシップを実施

7月29日から8月2日までの5日間、大学生8名を受け入れてインターンシップを実施し、各部署に分かれて業務体験(系別)を行った。



記念撮影を終えて事務局庁舎へ向かうインターンシップ生
=7月29日、アカンサス インターフェイス付近

わく・ワーク職場体験

今年で3年目となった中学2年生「わく・ワーク (work) 体験」は、7月9～10日及び同23～24日に昨年度までの2校から各5名ずつ受け入れ、また新たに1校から7月25～26日の間に3名の生徒を受け入れた。



林学長や大島事務局長と歓談する中学生
=7月10日、学長室

日本学術振興会事業説明会 －国際交流事業の支援、推進－

7月5日、日本学術振興会国際事業に係る事業説明会が開催され、本学及び石川県内大学等学術研究機関から約40名が参加した。

日本学術振興会国際事業部の加藤久国際情報課長及び小林英史地域交流課拠点大学第二係長から、研究助成、研究者養成のための援助、学術の国際交流の推進に関する各種事業等の概要及び現状、申請時の留意事項等について説明があった。

説明する加藤国際情報課長
=事務局大会議室



学長室等

本学へのお客さま



韓国湖西大学
Kang, Ilgoo副学長（右から2人目）



中国大連大学
左から沙建国大連大学弁公室副主任，（1人おいて）江親瑜同副学長

教育学部附属養護学校 マレーシアからの研修員受入れ

7月8日～12日の間、国際協力事業団北陸支部の主催による「平成14年度マレーシア国別特設知的障害児・者支援コース」の一環として、附属養護学校において、6名の研修員による知的障害児の療育全般についての実習が行われた。



障害児と療育体験するマレーシア研修生
=7月12日，附属養護学校小学部ホール

薬学部と大連軽工業学院(中国)が協定

8月13日、薬学部は中国大連市にある大連軽工業学院と部局間交流協定を締結した。大連市で行われた調印式には、辻薬学部長、石橋弘行教授、向智里教授、辻弘之事務長が出席した。



大連軽工業学院から客員教授の称号を授与された辻薬学部長（中央）、石橋教授（左から3人目）、向教授（左から2人目）

学生に対し学長研究奨励費を交付

8月2日、学部学生による優れた研究を奨励するための学長研究奨励費交付式が行われた。



学長研究奨励費交付者と懇談する畑副学長
=事務局第2会議室

まちなか(街中)でゼミナール

このほど金沢市と金沢大学をはじめ金沢市近郊の15高等教育機関で構成する「金沢市・大学間連絡会」は、まちなかの賑わいを創出することを目的とした「まちなかゼミナール開催奨励金」を創設し、トップをきって、7月13日、徳本伸一法学部教授が加賀土佐守資料館でゼミナールを開催した。



理学部の植物生理・生化学研究セミナーの様子
=7月30日，金沢市中央公民館本多町館

サテライト・プラザ、公開講座、講習会

三二講演会

- 日 時：7月5日
- 演 題：「超高性能顕微鏡を開発して生命現象の謎に迫る」
—高速原子力顕微鏡の開発と動くタンパク質分子の観察—
- 来場者：約50名



講演する安藤敏夫理学部教授
=金沢大学サテライト・プラザ

- 日 時：8月10日
- 演 題：「ストレスに強くなり上手にリラックスする方法」
- 来場者：約50名



講演する荒木友希子文学部助手
=金沢大学サテライト・プラザ

7月～8月開始の公開講座



「発達生物学・医学への招待」
顕微鏡で説明する東田陽博医学系研究科教授
=7月30日、医学部北棟4階恒温室

篠原秀夫教育学部教授による「コードネームを使った簡単なピアノ伴奏講座（初級コース）」及び生田宗博医学部保健学科教授らによる「腰痛防止の介助・介護方法—理論と実習—」も開催された。



「中高年者における歩行運動のすすめ」
講義する藤原勝夫医学系研究科教授
=8月26日、金沢大学サテライト・プラザ



「教員のための手話講座（中級）」
手話実技を指導する木村晴美講師
=8月26日、教育学部講義棟103号室

夏期講習会

大学教育開放センターは、7月22日から8月23日まで「平成14年度社会教育主事講習」を、また7月29日から8月9日まで「平成14年度学校図書館司書教諭講習」を開催し、それぞれ103名と240名が受講した。

社会教育主事講習



受講風景
=7月22日、大学教育開放センター大講義室

学校図書館司書教諭講習



開講式であいさつする畑副学長
=7月29日、教育学部401講義室

角間の里山自然学校から

7月27日、4月以来続けている北谷（きただん）の棚田復元作業、キノコの栽培、昆虫の観察をした。参加者約30名のうち10名は池田良幸会長はじめ石川キノコ会の方々であった。



里山のキノコづくり、粉砕器でチップにしたヨシをト口箱に詰める作業、あとでキノコ菌を植え付けた

棚田復元作業は、4月からすすめているもので、二つ目の池が完成し、ササ刈り、水路づくりなど周囲の整備も進んだ。

おめでとうございます

8月7日、江見準工学部教授及び金岡千嘉男自然計測応用研究センター教授は、エアロゾル学会「創立20周年記念功労賞」を受賞した。

エアロゾルに関する学術研究に多大な貢献をされ、また長年にわたり会の発展に寄与された功績が認められたもの。



江見 準教授



金岡千嘉男教授

キス釣り大会

7月20日（海の記念日）の未明から午前11時にかけて、県内の内灘海岸から千里浜海岸の間で、文部科学省共済組合金沢大学支部のキス釣り大会が行われ、教職員と家族を含めて約50名が参加した。



表彰を受ける入賞者
＝内灘海岸

高安右人の胸像を再建

医学部正面玄関前に高安右人（旧制金沢医科大学（現金沢大学医学部）初代学長）の胸像が再建され、7月27日、その除幕式が親族、大学関係者ら約60名が出席し盛大に行われた。



再建された高安右人の胸像
＝医学部玄関前

編 集 後 記

全国的に夏休みに入ると、大学教育開放センターは講習会・公開講座等が目白押しとなります。7月下旬から8月下旬にかけての担当行事は、社会教育主事講習（23日間）、学校図書館司書教諭講習（8日間）、公開講座（4講座：11日間）で延べ42日間となり、中西センター長の言葉をかりますと、「大学教育開放センター夏の陣」で、毎年のことではありませんが、暑い夏をすごしております。延べ411名の受講者があり、それぞれ内容は違いますが生涯学習の場を提供することができました。

学習する喜び？（苦しみ？）を得るため、みなさんも、何かに挑戦してみませんか？

そこに、今までに無い何か潜んでいるかもしれません…

また、来月は生涯学習フェスティバルが本県で開催され、大学教育開放センターは、「秋の陣」に突入します。文部科学省及び金沢大学主催で石川県教育会館において「第14回大学開放の在り方に関する研究会」及び「第8回生涯学習実務者協議会」を開催、見本市への出展も行います。

是非この機会を利用して生涯学習の第1歩をふみだして見ませんか。（総務部企画広報室生涯学習係長 山本 恒夫）

平成14年9月20日発行
（原則として毎月1回第3週に発行）

〒920-1192 金沢市角間町
編集 金沢大学総務部企画広報室

TEL 076-264-5024
FAX 076-234-4015

◆本紙の内容、その他の本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ」〈愛称“KUPIS”（キューピーズ）〉
（アドレス＝<http://www.kanazawa-u.ac.jp>）でもご覧いただけます。
◆本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール（E-mail）＝general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。